



水土里情報を活用した作業計画・管理支援システムについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネットひろしま、広島県内集落法人

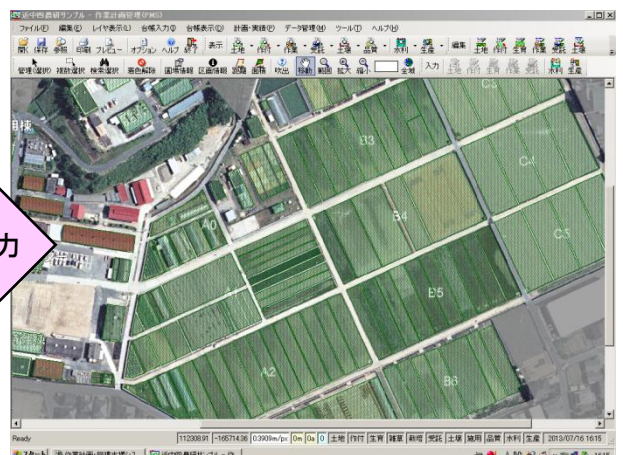
取組概要

内容: 水土里情報利活用促進事業で整備したオルソ画像・農地筆図・耕区図を利用した、集落法人による作業計画・管理支援システム(近畿中国四国農業研究センター)による、圃場管理や作付・栽培管理の省力化について

- 経緯: ①広島県内には集落法人が227団体(平成25年4月1日現在)設立されており、水土里ネットひろしまでは、集落法人から「圃場管理や作付管理について地図情報を利用できないか」との問い合わせを受け、安価な地理情報システム上で水土里情報利活用促進事業で作成したデータを活用し、営農管理に係る労力の節減を図るための方法について検討を始めた。
- ②地理情報システムの選定については、近畿中国四国農業研究センターの指導・協力により「作業計画・管理支援システム」の無償配付が可能となり、広島県集落法人連絡協議会役員会や世羅町内の集落法人へシステムの説明会を開催し、利活用の啓発を行った。
- ③本システムの説明会を行った中で、作付や栽培管理・作業計画や労務管理などの機能は、多くの集落法人から営農に利用できるとのアンケート結果を得たため、県内の各集落法人へ配付を開始した。
- ④現在、広島県内の64の集落法人へ本システムを配付しており、営農での利活用が始まっている。

緯度	経度	面積	地番	筆番	所有者	耕作	耕作	耕作	面積	水確	小作	利用	シ	用途	管理	
1	1	1	10	AD-1	AD-1	4	4	456	460	1500	C3-5			0	4	
2	2	12	10	AD-2	AD-2	1	1	214	190	1500	AD-2			0	4	
3	3	10	10	AD-3	AD-3	8	8	252	250	1500	AD-2			0	4	
4	4	10	10	AD-4	AD-4	4	4	241	250	1500	AD-2			0	4	
5	5	10	10	AD-5	AD-5	13	13	284	250	1500	AD-2	1900.00.	2006	B1	0	4
6	6	10	10	AD-6	AD-6	13	13	293	250	1500	AD-2	1900.00.	2006	B1	0	4
7	7	11	11	AI-1	AI-1	1	1	56	300	1500	AD-2			0	4	
8	8	11	11	AI-1-2	AI-1-2	1	1	208	150	1500	AD-2			0	4	
9	9	11	11	AI-2	AI-2	8	8	244	400	1500	AD-2			0	4	
10	10	11	11	AI-N1	AI-N1	1	1	1197	1200	1500	AD-2	1200	2009	A2	0	4
11	11	11	11	AI-3	AI-3	1	1	162	180	1500	AD-2			0	4	
12	12	11	11	AI-4	AI-4	1	1	249	250	1500	AD-2			0	4	
13	13	11	11	AI-5	AI-5	7	7	259	250	1500	AD-2			0	4	
14	14	11	11	AI-6	AI-6	1	1	256	250	1500	AD-2			0	4	
15	15	11	11	AI-N2	AI-N2			1188	1200	1500	AD-2	1200	2009	A2	0	4
16	16	11	11	AI-S1	AI-S1	4	4	221	250	1500	AD-2			0	4	
17	17	11	11	AI-S2	AI-S2	4	4	237	250	1500	AD-2			0	4	
18	18	11	11	AI-S3	AI-S3	4	4	224	250	1500	AD-2			0	4	
19	19	11	11	AI-S4	AI-S4	4	4	241	250	1500	AD-2			0	4	
20	20	11	11	AI-S5	AI-S5	5	5	244	250	1500	AD-2			0	4	
21	21	11	11	AI-S6	AI-S6	5	5	257	250	1500	AD-2			0	4	
22	22	11	11	AI-S7	AI-S7	5	5	269	250	1500	AD-2			0	4	
23	23	11	11	AI-S8	AI-S8	5	5	253	250	1500	AD-2			0	4	
24	24	11	11	AI-S9	AI-S9	5	5	338	250	1500	AD-2			0	4	
25	25	12	12	AD-1	AD-1	1	1	166	162	1500	AD-2			0	4	
26	26	12	12	AD-2	AD-2	8	8	442	150	1500	AD-2			0	4	
27	27	12	12	AD-3	AD-3	2	2	264	170	1500	AD-2			0	4	

農地情報入力画面



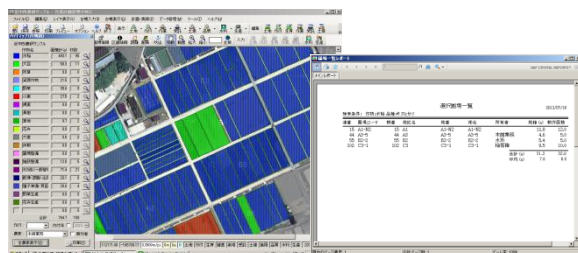
地図情報表示画面

属性入力

期待される効果

- ①農地・作物に関する情報を地理情報システムで管理することにより、扱える情報量が充実する。
- ②作業計画の策定・変更・管理・履歴把握に要する労力の低減が図られる。
- ③図面や調書などを地理情報システムで処理することにより、地図や各種調書の作成や集計作業が容易にできる。

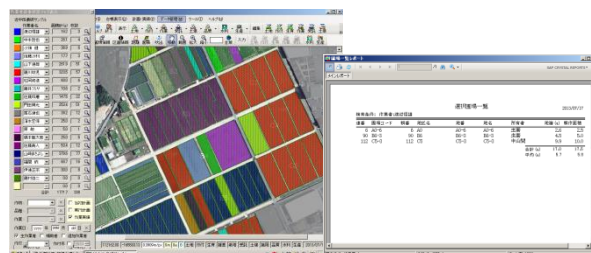
・作付品目・品種



作付マップ

作物・品種別調書

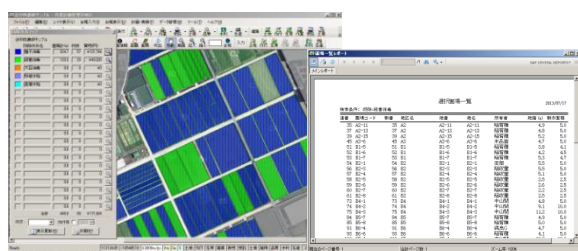
・作業者従事状況



作業者従事マップ

作業者別調書

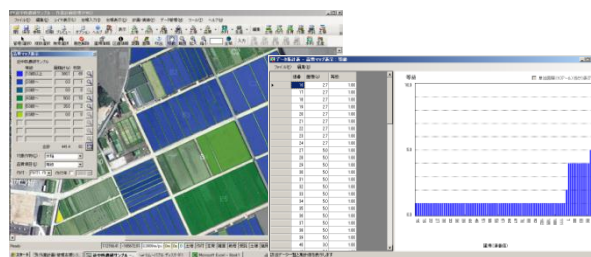
・防除体系



防除マップ

防除別調書

・品質(等級別)



等級別マップ

圃場別等級一覧

- ④上記のシステム機能例のほか、施肥・収量・機材使用・農薬使用・土壌・水利・出荷などの情報管理や作業計画計算・在庫管理を行うことができ、多様な営農計画・管理に活用することにより省力化を図ることができる。

今後の活用予定

県内の集落法人においては、設立後の農業経営の合理化・安定化が求められている。このため、本システムを導入していない法人への利活用拡大を図り、作業計画や管理に係る労力を省力化するための一助とする。

■お問い合わせ先

広島県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター 082-502-7478(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)